学校番号	３０８

令和８年度　地理歴史科

教科	地歴科	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	現代の歴史総合　みる・読み解く・考える（山川出版社）						
副教材等	新詳　歴史総合（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・従来、日本史・世界史と分けて理解を深めようとしてきたが、相互にリンクする近現代史において両者を客観的に俯瞰することで、グローバルな視点を持って歴史を理解させる。
・板書・プリント授業だけでなく、アクティブラーニングや班別学習・研究発表などを積極的に導入し､自ら学ぶ姿勢を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
近代以降の世界と日本の歴史の展開を関連付けながら理解する力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
歴史的事象の意味や意義を多面的・多角的に説明したり議論できる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
歴史の考察を通じ、より良い社会の表現を視野に、課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界と日本を広く相互的に捉え､近現代の歴史を理解する。 また、資料から歴史に関する情報を効果的に調べていく技術を身に着けさせる。	近現代の歴史の変化に関する事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察したり、歴史的課題の解決を構想したりする力や効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	近現代の歴史に関する諸事情に関して、課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚や我が国の歴史に対する愛情、また他国を尊重する大切さの自覚を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近代化と私たち	・結びつく日本の開国 ・国民国家と明治政府	a :18 世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と日本への影響、市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯、国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り理解している。 b :「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容、市民革命および産業革命の経緯、対外戦争や差別・抑圧，帝国主義が人類に与えた変化について考察しみずからの言葉で表現している。 c :18 世紀の世界交易、市民革命や産業革命が現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント 授業観察	プリント 授業観察 研究成果の発表
2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・総力戦と社会運動 ・経済危機と第二次世界大戦	a:国際関係の視点を軸に，第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と参戦各国の社会の変化，世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について大衆とマスメディアの関わりに着目しながら資料を読み取り，理解している。 b:第一次世界大戦の総力戦体制下において，列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのか，ファシズム体制の形成から終戦に至るまで，大衆がなぜ戦争に協力していったのかについて考察し，みずからの言葉で表現している。 c:勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント 授業観察	プリント 授業観察 研究成果の発表

3	グローバル化と私たち	・冷戦と世界経済 ・世界秩序の変容と日本	a:冷戦下の緊張と緩和の経緯と，そのなかでの日本の高度経済成長や，脱植民地化を目指す動き、冷戦下の１960 年代から 80 年代における各国の選択と経済成長、冷戦終結の過程とグローバル化の特質について，資料を読み取り，理解している。 b:冷戦下の世界と日本の動向について，政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し，みずからの言葉で表現している。各国の選択を比較し，「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し，みずからの言葉で表現している。 c:冷戦下における各国の動向が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。冷戦下における各国の政治的・経済的選択が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。冷戦の終結とグローバル化の進展が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント 授業観察	プリント 授業観察 研究成果の発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度